



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

# 保健福祉システム部会

## 平成27年度業務報告会

# 部会活動状況

平成28年 2月15日  
部会長 富田 茂



医療等分野における成長戦略

保健福祉システム部会の体制

平成27年度の取り組み状況

- ・取り組み方針
- ・活動状況(対外活動・標準化等)

平成28年度の取り組み方針



## 医療等分野における成長戦略



2015年6月30日 「日本再興戦略」改訂2015が閣議決定

健康産業の活性化と質の高いヘルスケアサービスの提供



政府

再

・

患

・

地

・

一体的に経営することが可能に

2020年までの5か年を「集中取組期間」として医療等分野におけるICT化を徹底的に推進することとされており、

- ・マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度の導入
- ・医療等分野でのデータのデジタル化・標準化の推進／地域医療情報連携等の推進
- ・医療介護政策（医療介護の質の向上、研究開発促進等）へのデータの一層の活用
- ・民間ヘルスケアビジネス等による医療等分野のデータ利活用の環境整備

の4分野が挙げられている。具体的には、「電子カルテ普及率9割」、「地域医療情報連携ネットワークを全国普及」、「個人番号カードを健康保険証として利用」等

## 政府の新たな改革

### 医療・介護等分野におけるICT化の徹底

- ・重複検査・投薬を防止するため、2020年度までに大病院での電子カルテ普及率を9割に
- ・2018年度までに地域医療情報連携ネットワークを全国普及
- ・2017年7月以降早期に個人番号カードを健康保険証として利用、2018年目途に電子お薬手帳の全国普及

### 医療の国際展開（アウトバウンド、インバウンド）の促進

- ・外国人患者の受入れを行う医療機関を「日本国際病院（仮称）」として構成し、海外へ発信
- ・外国人患者の受入れを一気通貫でサポートする企業を認証

### ヘルスケア産業の創出支援（地域版次世代ヘルスケア産業協議会の設立促進）

『「日本再興戦略」改訂2015－これまでの改革の主な成果と新たな取組』より抜粋

[http://www.kantei.go.jp/jp/topics/2015/seicho\\_senryaku/pdf6\\_new\\_seika\\_torikumi.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/topics/2015/seicho_senryaku/pdf6_new_seika_torikumi.pdf)

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

## 2015年6月30日 「世界最先端IT国家創造宣言」が改定

### 世界最先端IT国家創造宣言及び工程表 改定（案）概要

#### II. 目指すべき社会・姿、 III. 目指すべき社会・姿を実現するための取組

ITを利活用した安全・安心・豊かさが実感できる社会として、適切な地域医療・介護等の提供、健康増進等を通じた健康長寿社会の実現が挙げられている。具体的には、

- ・医療情報連携ネットワークの全国への普及・展開
- ・地域包括ケアでの情報共有・連携とともに客観的な評価やサービス内容向上のための方策検討
- ・医療・健康情報等のデータ収集・蓄積・分析及び活用の仕組みの構築 等

#### 3. ITを利活用した安全・安心・豊かさが実感できる社会

- 適切な地域医療・介護等の提供、健康増進等を通じた健康長寿社会の実現 ⇒ 目標: 2020年までに国民の健康寿命を1歳以上延伸  
… [医療情報連携ネットワークの全国展開、医療・健康情報等の各種データの活用による健康増進や発症・重症化予防等]
- ITを利活用した日本の農業・周辺産業の高度化・知識産業化と国際展開 ⇒ 目標: 農林水産物輸出1兆円  
… [農業情報創成・流通促進戦略の推進 (AI農業の推進、鳥獣被害対策等の農業IT化の浸透等)]
- 世界で最も安全で環境にやさしく経済的な道路交通社会の実現 ⇒ 目標: 2020年代後半以降に完全自動走行システム試用開始  
… [官民ITS構想・ロードマップ2015の策定、推進 (高齢者等の移動支援、オリパラ競技大会に向けた最先端のITS構築等)]

#### 4. ITを利活用した公共サービスがワンストップで受けられる社会

- マイナンバー制度の活用推進 ⇒ 目標: 個人番号カードの普及  
… [利活用範囲の拡大検討、官民手続等での個人番号カード利活用推進、ワンカード化の推進]
- 国・地方を通じた行政情報システムの改革 ⇒ 目標: 自治体システムの運用コスト3割減 等  
… [IT総合戦略本部・eガバメント関係会議における、国・地方の行政のIT化・BPR推進の検討]

## 保健福祉システム部会の体制



# JAHIS 平成27年度 保健福祉システム部会の体制(1)

## 保健福祉システム部会

**部会長** 富田 茂(NTTデータ)

**副部会長** 西原 栄太郎  
(東芝メディカルシステムズ)

**副部会長** 成清 智常(日立製作所)

**運営幹事** 中光 敬(NTTデータ)  
(保健福祉システム担当)

**事務局部長** 平井 健二

## 地域医療システム委員会

**委員長** 森田 嘉昭 (富士通)  
**副委員長** 田中 智康 (NTTデータ)  
**副委員長** 外尾 和之 (日本電気)  
**副委員長** 田中 良樹 (富士通)

### 医療介護連携WG

**リーダー** 光城 元博 (日立メディコ)

### 地域医療連携IHE-ITI検討WG

**リーダー** 足立 重平 (日本電気)

### 地域医療連携画像検討WG

**リーダー** 北山 健児 (富士通)

### 地域医療連携診療文書標準化WG

**リーダー** 濱島 健一 (NTTデータ)

# JAHIS 平成27年度 保健福祉システム部会の体制(2)

## 健康支援システム委員会

委員長 鹿妻 洋之 (オムロンヘルスケア)  
副委員長 木内 邦光 (東芝メディカルシステムズ)  
副委員長 井上 裕之 (NTTデータ)

## 健康情報技術WG

リーダー 木内 邦光 (東芝メディカルシステムズ)

## データ分析・活用モデル検討WG

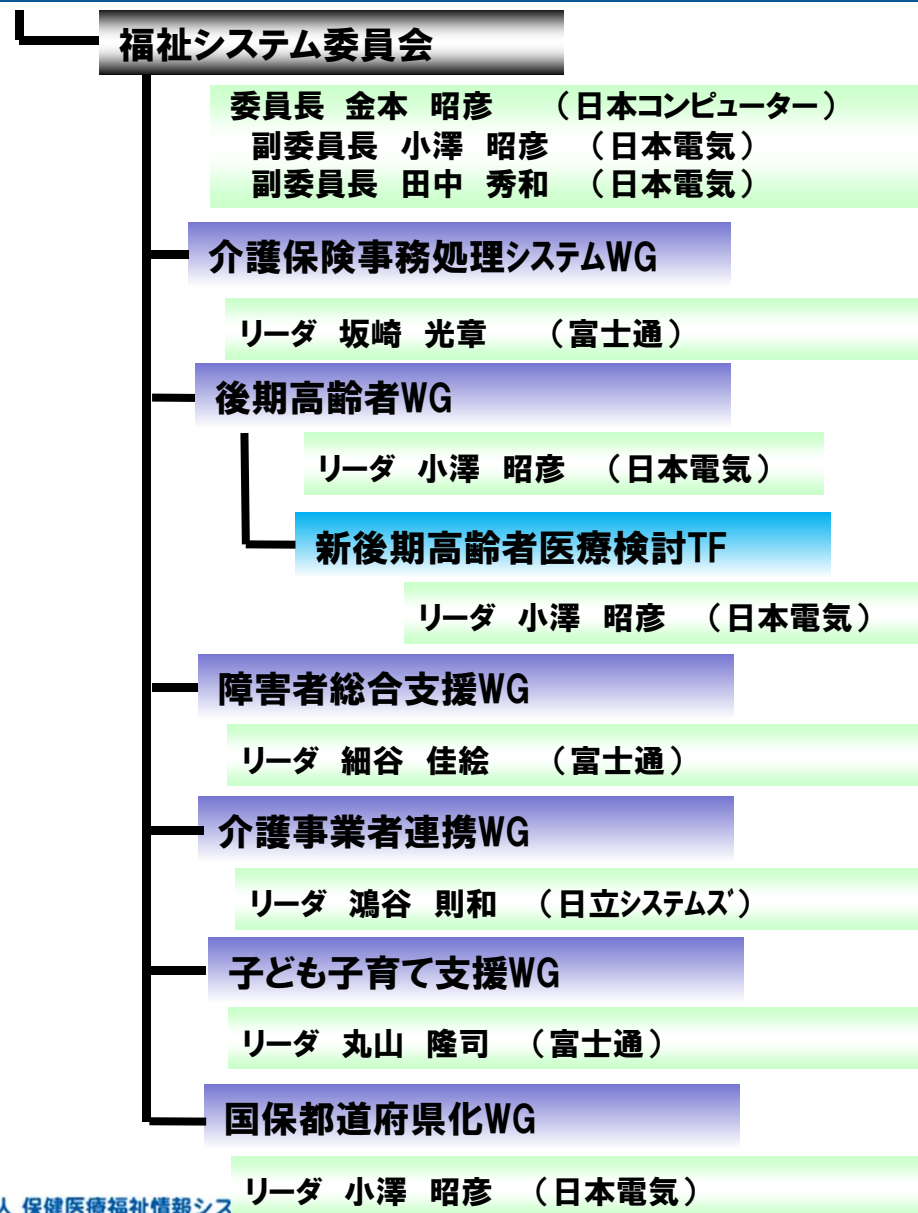
リーダー 岩田 淳也 (日立製作所)

## JAHIS-日本HL7協会合同 健康診断結果報告書規格WG

リーダー 木内 邦光 (東芝メディカルシステムズ)



# JAHIS 平成27年度 保健福祉システム部会の体制(3)



## 平成27年度の取り組み状況

### 1. 取り組み方針

### 2. 活動状況(対外活動・標準化等)



## 1. 取り組み方針

- ・保健・福祉・介護・在宅医療・地域医療連携等の情報システム関連**標準化活動、行政や関連団体の各種委員会への積極的参画**により、業界全体の発展育成に努めております。
- (1) 地域における保健・医療・福祉・介護の連携のための施設間および多職種間での標準的情報連携方法・システム等に関する検討。
- (2) ヘルスケア産業基盤創造に関する、健診データの標準的な管理・利活用に関わるシステムの普及と、健康情報活用ビジネスの創出・拡大。
- (3) 地域ヘルスケア情報連携システムの標準類の策定と 実装・普及の推進。
- (4) 中長期を見据えた新テーマの設定とそれに対応した部会傘下の委員会・WG・TF等組織の編成。
- (5) 会員への情報提供、関係省庁・関係機関への積極提言。

## 2. 活動状況(関係省庁1)

### ■厚生労働省「保険者による健診・保健指導等に関する検討会 実務担当者による特定健診・特定保健指導に関するWG」に参加

対応日時：平成26年9月～

対応内容：特定健診・保健指導における保険者間データ移動記録の保存についての検討

対応者：鹿妻 健康支援システム委員長 他1名

### ■厚生労働省「オンライン資格確認に関する調査研究 実務者WG」へのオブザーバー参加

対応日時：平成27年11月～平成28年3月

対応内容：オンライン資格確認の早期導入に向けて、医療等番号制度の検討状況を踏まえたモデル案の検討

対応者：田中 福祉システム委員会メンバ 他3名

## 2. 活動状況(関係省庁2)

### ■厚生労働省「介護のシゴト 魅力向上懇談会」への委員派遣

対応日時：平成28年1月～平成28年4月(予定)

対応内容：介護の仕事や職場の魅力向上を更に進めるため、ICT等の活用による業務負担の軽減、生産性の向上等について議論

対応者：金本 福祉システム委員長、 畠山 介護システム委員長(医事コン部会)

### ■経済産業省「健康・医療情報を活用した個人の行動変容に向けた検討委員会」へのオブザーバ参加

対応日時：平成27年12月～平成28年3月

対応内容：健康・医療情報を利活用する際の技術面・制度面・心理面・ビジネス面の課題への対応策を議論

対応者：鹿妻 健康支援システム委員長

## 2. 活動状況(関係機関1)

### ■国保中央会の制度運営に貢献

- 国保中央会の「障害者総合支援事務処理システム委員会」に参加し、障害者総合支援法における自立支援給付制度の円滑な運営に貢献。  
対応期間：平成24年10月～平成28年9月  
対応者：金本 福祉システム委員長 他7名
- 国保中央会の「国保制度の事務処理に係るシステム関係実務勉強会」にオブザーバ参加し、システムの精通者として意見具申。  
対応期間：平成26年11月～平成27年6月  
対応者：小澤 国保都道府県化WGリーダー 他2名
- 国保中央会の「国保保険者標準事務処理システム検討会及び分科会」にオブザーバ参加し、システムの精通者として意見具申。  
対応期間：平成27年9月～平成28年3月  
対応者：小澤 国保都道府県化WGリーダー 他2名

## 2. 活動状況(関係機関2)

### ■独立行政法人福祉医療機構への協力

- ・WAMNET事業推進専門委員に就任し、ITの専門家として福祉医療機構の運営に貢献

対応期間：平成26年4月～平成28年3月末

：平成28年4月～平成30年3月末(更新)

対応者：金本 福祉システム委員長

### ■関西学院大学への協力

- ・関西学院大学人間福祉学部の講義「人間福祉情報論」において、ゲストスピーカー(講師)として参加し、学生へ「福祉と介護に関わる情報システムの現状」について講演

対応日時：平成27年12月9日(90分)

対応者：金本 福祉システム委員長

## 2. 活動状況(関係機関3)

### ■東京都保険者協議会への協力

- ・特定健康診査・特定保健指導等評価検討委員会に委員として就任  
対応期間：平成26年4月～平成28年3月  
対応者：鹿妻 健康支援システム委員長
- ・平成27年度特定健診等担当者向け研修会【データ分析研修】で講演  
実施日時：平成27年5月28日、29日(各日180分、計360分)  
演 題：「効果的な保健事業の実施のためのデータ分析とは？  
～レセプト及び特定健診等データの活用と評価～」  
対応者：鹿妻 健康支援システム委員長

### ■地域医療福祉情報連携協議会への協力

- ・「第7回地域医療福祉情報連携フォーラム」で講演  
実施日時：平成27年5月18日(40分)  
対応者：田中(智) 地域医療システム副委員長



## 2. 活動状況(標準化)

### ■保険者(市町村)－地域包括支援センター間インタフェース仕様書Ver.2.0 (JAHIS技術文書)公開(予定)

- ・平成27年度介護保険制度改正に伴い、「保険者(市町村)－地域包括支援センター間インタフェース仕様書Ver.1.0(JAHIS技術文書12-106)」の改訂版をVer.2.0として登録予定。

発行時期:平成28年3月(予定)

対応部門:福祉システム委員会

### ■地域医療システム委員会に新規WGを設置

- ・地域医療システム委員会に下記3つのWGを新設し、地域医療連携システムに関するJAHIS標準/技術文書の策定/改版への取り組みを加速。
  - －地域医療連携 IHE-ITI検討WG
  - －地域医療連携 画像検討WG
  - －地域医療連携 診療文書標準化WG

## 2. 活動状況(委員会等活動・情報提供等)

### ■本委員会

- ・毎月委員会を開催し、委員会活動状況の把握、部会運営内容協議、行事計画、事業計画策定等実施。(平成27年4月～平成28年1月で計10回開催)

### ■地域医療システム委員会

- ・委員会を隔月で開催し、標準化や行政動向など情報提供(計4回開催)。  
また、配下のWGで各種の標準化推進に向けたディスカッション等を実施。(計18回開催)。
- ・毎週1回、行政動向、医療ITニュース等を会員向けにメール配信。

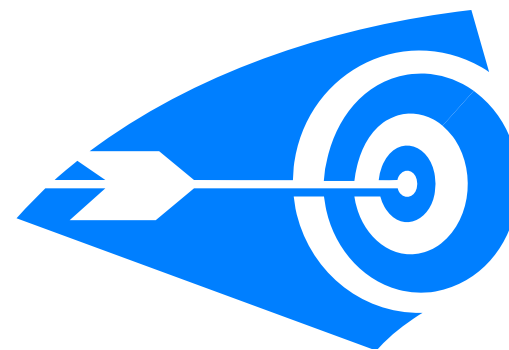
### ■健康支援システム委員会

- ・検討課題発生の都度、委員会/WGを開催(同、計3回/6回開催)。
- ・メールで各種の情報提供を実施(同、計6回配信)。

### ■福祉システム委員会

- ・WGを中心に活動を実施(同、計9回開催)。
- ・メールで各種の情報提供を実施(同、計70回配信)。

**平成28年度の取り組み方針**



## 平成28年度取り組み方針

■来年度も引き続き、保健・福祉・介護・在宅医療・地域医療連携等の情報システムの標準化活動、行政等の各種委員会への積極的参画により、業界全体の発展に努めていくとともに、医療・福祉サービス分野におけるICTの推進や地域包括ケアシステムの構築等に寄与することで、政府の目指す「一億総活躍」社会の実現に貢献します。

- (1) 地域包括ケアシステムの推進のため、施設間や多職種間での連携データの標準化・普及等に向け、行政機関、関係団体への積極的な提言を実施し、業界のビジネスの創出を図る。
- (2) 予防・健康管理の推進のため、引き続き関係機関・団体と連携し検討会等に委員を派遣するなど、各種健診関連システムの普及やデータヘルス計画の効果的な実施に資する活動・提言を実施する。また、ヘルスソフトウェア、ビッグデータ分析、PHRの活用等に関連した調査や提言を行い、健康情報活用ビジネスの創出・拡大を図る。
- (3) 番号制度への各種対応に加え、現在検討が進められている医療等分野における番号制度について、情報システム分野の専門家として効率的なシステム構想を提言する。
- (4) 当該分野での社会保障制度変更に対応するとともに、中長期を見据えた新テーマの設定やそれに対応した部会傘下の委員会・WG・TF等の組織編成を行う。
- (5) JAHIS他部門の委員会等との連携による積極的な情報収集に基づく会員への情報提供、関係省庁・関係機関・学会への積極的な提言を実施する。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

**ご静聴、誠に有難うございました。**

**今後とも保健福祉システム部会へのご支援をよろしくお願い致します。**

